

発行者 浜松言友会 浜松市勤労青少年福祉関係団体 認定
NPO法人全国言友会連絡協議会 加盟

会長 谷 哲夫

編集者 菅沼 覚

ホームページ <http://hamamatsugenyuukai.web.fc2.com/>

⇒「浜松言友会」で検索

第5回青少年のための吃音講座 浜松会場 報告

日 時：平成 29年 8月 6日 (日) 10時集合準備 13時受付 ~片付け 17時
場 所：アイミティ浜松 (浜松市立勤労青年ホーム) 第2集会室
参加人数：会員 14名 (TT、AF、SS、YN、IH・M、WA、AN、
SY、SK、SN、NK、TS、SM)

その他：下記参照

浜松例会 報告

日 時：平成 29年 8月 20日 (日) 14時~16時 45分
場 所：アイミティ浜松 (浜松市立勤労青年ホーム) 第1集会室
司 会：NH (兼テーマ担当)
参加人数：8名 (YN、AF、NH、SY、IH・M、NK、SS)

1. 近況報告・3分間スピーチ (抜粋)

- 自分の声 (大きさ、速度など) を意識するかしないかは大事なことだ。意識をして実践することが勉強だと思って今までやってきた。
- 9日間の会社の盆休みが今日で終わる。仕事をする前は不安で気持ちが高まってしまう。休暇中は家族以外の人と会話する機会が少なかつただけに、今日は例会に出席できて良かった。
以前の自分は、「この連休中に吃音を治そう！」思い、そして結局治っていない現実に落ち込んだものだ。しかし吃音についての知識を得るようになってからは、落ち込むことは無くなった。
- 昨日、甲子園の試合 (仙台育英 VS 大阪桐蔭) の劇的な幕切れを、たまたまテレビで観た。野球の試合は最後まで何が起こるかわからないものだとつくづく思う。人生においても、状況に左右されず最後まであきらめない姿勢を貫き通すことの大切さを教えられた気がして、久しぶりに心に感動を覚えた。
- 「第5回青少年のための吃音講座」(浜松会場) が8月6日に無事終了し、事務局としてホッとしている。
- 盆の時期でもあり、お寺の住職の講話を聞いたが、その内容はどの宗教にも共通するものだと感じた。やはり「神様は一つ」なんだなと思った。
- 吃音に向きあい、克服・改善してきたやり方は人それぞれ。自分のやり方が100パーセント他の人にも有効であるとは限らない。ともすると、そのことを忘れて、結果として自分のやり方を人に押し付けてしまっていないだろうか？気をつけたい。



蓮(レンコン)

- 先日、「社内研修で吃音を責められ、自殺した」というニュースがあった。自分も若い頃は、吃音ゆえに辛くて苦しい時期もあったが、死を選択しなくてよかったと思う。今でも吃音は恥ずべきもの、治すべきものと勘違いしている人が多い。JDDに加入することにより、正しい吃音への理解が広まっていけばと希望する。
- 「吃音に向き合う」ことをキッカケとして、吃音以外の自分の苦手な分野と向き合っていく生き方を身に着けていきたい。
- 吃音に関する新聞報道は前向きな内容だ。勇気付けられる。新聞記事を通して、健常者も自分の置かれている立場に気付く機会にもなると思う。
- 「仲間がいる」ということ。そして「ことばの大切さ」を知ること。これらが吃音者にとって大切なポイントではないかと思う。
- 例会以外に、自由な雰囲気話し合える時間や場所の確保を考えていきたい。

2. 「第5回青少年のための吃音講座（浜松会場）」を振り返って

① 事務局より報告

- 参加者数 小学生 1、保護者母 5、成人 4、ことばの教室等 3、
会員家族 3、以上会員外 16 名、
会員 14 名 合計 30 名
- 広 報 浜松、湖西、磐田、袋井、森 各小中学校 85 校、報道 16 社、
他 30 団体、80 個人
- 取 材 静岡新聞社 毎日新聞社、 報道 8月9日、14日



② 感想・意見など（抜粋）

ヘクソカズラ

- 「吃音講座」を継続していけば、新聞報道などによって外へ広がっていく。これからも継続し続けることが大切だ。
- 過去一度でも「吃音講座」に来てくれた人への事後のフォローをより充実させ、継続的な参加につなげてほしい。
- 「吃音講座」（浜松会場）が終了した今、その後のフォローをしっかりと考えていくことが重要だ。
- 吃音当事者である子どもの参加は少なかったが、親御さんが何名か参加していた。本人たちへの改善につながってくれたらと願う。
- 言語聴覚士による学生時代の卒論研究に基づく発表内容が、専門用語の難しさもあって、一般の参加者にはわかりにくかったのではないかと。しかし、まずは発表の訓練の良い機会であったと思うし、一生懸命やっていただいたと思う。今後の更なる充実・改善を期待している。
- 吃音当事者でない一般の人の参加はなかった。「吃音講座」が吃音への偏見を改善する場にはまだなっていないように思う。一般の人が吃音に興味を持つような広報活動を！ ヒントとして、盲導犬の啓発キャンペーンが参考になるのではないだろうか？
〈意見〉
JDD ネットへの加入も一つの啓発方法だと思う。
- 「グループによる意見交換」において、記録係としての担当がハッキリしていなかったグループがあった。静岡会場においては、事前説明に気をつけたい。

- 時間配分の遅れについて
 - 質問が多く出たことは良かったが、その影響で時間配分が遅れ遅れになり、最終的に「吃音個別相談」の時間を大幅にカットせざるをえなかった。遠方から「吃音個別相談」にわざわざ来て頂いた親子や相談者の方たちには大変申し訳なかった。
 - 開会時間を30分早める（13時30分 → 13時00分）ことも一案。
 - 「吃音個別相談」を思い切って午前の部（11時～12時）とし、相談希望者に確実に応えられるようにしたらどうだろうか。

3. 「JDDネット」への加入について（意見など）

→ 今までの意見（会報335号、336号）に加えて

- 加入することにより。重度の吃音障害の人にとっては、障害者手帳を受給しやすい環境になると思う。
- 100人100様の症状を「吃音」という言葉で全てをまとめられてしまっていることに気付かなければならない。「重度」の吃音症状は、「がんばればなんとかなる!」というレベルを明らかに超えている。一般的な「吃音」に対するこのような精神論的な誤解を解くためにも、JDDに加入して啓発を行うことは有益だ。
- 日常生活においてちょっと苦手な分野なども「障害」といえば「障害」だ。「障害」をマイナスととらえるのではなく、人間一般のごく普通のことであると捉えてはどうだろうか。



第5回静岡例会 案内

日 時：平成29年9月17日（日） 14時～16時45分
 場 所：静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）3階 和室4
 内 容：吃音相談、勉強会、その他（椅子は少しですが用意します）
 第5回青少年のための吃音講座 静岡会場 について

- ※ 駐車場が少ないので、満車の場合は近くの有料駐車場へお願いします。
- ※ 「テレビ静岡」の取材がある予定です。テレビに映りたくない方は配慮します。

次回 浜松例会 案内

日 時：平成29年9月24日（日） 14時～16時45分
 場 所：アイミティ浜松（浜松市立勤労青少年ホーム）2階 第1集会室
 司 会：IH（兼テーマ内容担当）
 内 容：吃音相談、近況報告など
 第5回青少年のための吃音講座（静岡）の役割分担等の最終確認
 その他

※ 各例会の内容は参加状況等により、変更となる場合があります。

第5回 青少年のための吃音講座（静岡会場）案内

日 時：平成29年10月1日（日）9時借用 10時集合準備 13時受付 片付け終了17時
 会 場：静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）1階 101会議室
 内 容：吃音当事者による体験発表、専門家による講義、グループ別意見交換、吃音相談 ほか
 昼 食：コンビニ弁当を購入予定ですが、予算の都合で支払いは各自でお願いします。
 駐車場は障害者用などしかありませんので、市民文化会館地下などの有料駐車場、又は公共交通機関でお願いします。
 → 吃音講座の詳細は「浜松言友会ホームページ」をご覧ください。

その他お知らせ

- 第31回言友会中部大会 2017 IN 飛騨高山
～吃音といま一度向き合い、語り合おう～
期 日：平成29年10月28日（土）～29日（日）
会 場：岐阜県高山市内 「お宿・信田（のぶた）」
参加費：10,000円（一泊2食、懇親会費等含む）
⇒ 浜松言友会からも何名か参加します。詳細は事務局まで。



全言連

- 第51回言友会全国大会（ワークショップ）
期 日：平成29年11月3日（金・祝）～5日（日）
会 場：福岡市 志賀島国民休暇村
- 吃音世界大会 in JAPAN 2018（仮称）
期日：2018（平成30）年7月13日（金）～16日（月・祝）
会場：広島国際会議場
主催：国際流暢性学会、国際クラタリング学会、国際吃音者連盟、
日本吃音・流暢性障害学会、全国言友会連絡協議会
- 毎年 10月22日は「吃音啓発の日」



ONE WORLD, MANY VOICES:
SCIENCE AND COMMUNITY
13th - 16th July 2018, Hiroshima

一つの世界、多くの声：
科学とコミュニティ（仮和訳）

- 年会費 8月納入者 ME
H29年度計 正会員21名、賛助会員14名
- 各言友会の会報は事務局が預かっています、必要な方は事務局までお願いします。電子データの会報は転送します。
- 「全言連地域メーリングリスト」登録者 — T、A、S、N、S、U、S。全国の言友会員約120名が登録され、その会員に一齐にメールを送ることができ、また、その会員や各地言友会からいろいろなメールが送られてきます。吃音や言友会のことなど多くの情報を得ることができます。しかし、関係ないメールもたくさん来ます。登録を希望される方は下記事務局までお願いします。
- 浜松言友会の発行した「浜松言友会のあゆみ」があります。A-4版 112ページ PDF版 7.5MB
希望者は下記事務局までお願いします。会員無料、会員外 1,000円。



October 22, 2017
isad.isastutter.org

～編集者より～

「第5回青少年のための吃音講座（浜松会場）」（8月6日）が終了しました。

いくつかの反省・改善点はありましたが、やはり思うことは「継続すること」の大切さです。継続すれば必ず「新しい出会い」や「気付き」があります。これらを大切に次につなげていくことの先に、吃音者が住みやすい社会の実現があるのだと思います。

「青少年のための吃音講座（静岡会場）」が10月1日（日）に開催されます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

事務局 朝稲福司 〒438-0818 磐田市下万能 357
Tel & Fax 0538-32-5682（携 080-1606-5162）
Eメール asaine@msb.biglobe.ne.jp